

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		さんくすホープ児童発達支援		公表日		2026年 3月 23日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		基本的には十分であるが、休みが重なると少数の職員に負担がかかることがあります。そのような状況においても、安全面や支援の質が低下しないよう職員同士で連携を図りながら対応しておりますが、今後はシフト調整や人員配置の工夫を行い、より安定した支援体制を維持できるよう努めてまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1		現状、クールダウン専用として常設された個別スペースは十分に整備されていない状況です。一方で、お子様の状態や気持ちに応じて、可能な範囲で場所を分けるなどの対応は行っております。今後は、2階の面談室等のスペースも活用しながら、お子様が安心して気持ちを落ち着けられる環境づくりに努めてまいります。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	定期的にミーティングを行っています。ミーティングを行っており、個別の療育での様子を職員全体で共有・考察をしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	外部評価を行っていないため、系列の保育園等と相乗効果のためにも実施するとよいと思います	現状、第三者による外部評価は実施できていない状況ですが系列の保育園等との連携も含め、客観的な視点を取り入れることは支援の質の向上や業務改善につながる重要な取り組みであると認識しております。今後は、外部からの評価や助言を取り入れる機会についても検討し、より良い事業所運営につなげていけるよう努めてまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	外部研修の案内を得やすいと思います。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	計画は作成されていますが、全職員への共有が難しい場合は多いです。毎日お子様の様子を共有するミーティングを行うため、その際に支援計画のすり合わせを行っていききたいと思います。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・月に一度プログラムを変えて行っています。 ・月ごとにプログラムが更新されています。 ・週によって異なる内容もあります。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日で個別、集団を分離しています。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	必ずではないが、時間がある時に共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	6		現状、系列の保育園や地域の児童発達支援センターと定期的にスーパーバイズを受ける体制は整備されておらず、十分とは言えない状況です。一方で、園訪問時や関係機関との情報共有の機会において、支援方法に関する助言をいただくこともあり、それらを日々の支援に活かしております。また、事業所内においても職員間での情報共有やケース検討を行いながら支援の質の向上に努めております。今後は、現在の取り組みを基盤としながら、必要に応じて外部の専門職からの助言を受ける機会の確保や、より体系的なスーパーバイズ体制の構築について検討してまいります。

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		現状、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流活動や、地域の中で他のお子様と一緒に活動する機会については、十分に実施できていない状況です。一方で、必要に応じて園訪問等を通じて関係機関との連携を図り、お子様が集団の中で安心して過ごせるよう支援を行っております。今後は、お子様の特性や安全面にも配慮しながら、無理のない範囲で交流の機会の在り方について検討し、地域とのつながりを意識した支援の充実に努めてまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		この度は、ご家族への支援についてご意見をいただきありがとうございます。日々の個別レッスンの際には、保護者の方へお声がけを行い、育児に関するご相談や関わり方についての助言を行っておりますが、体系的な家族支援プログラムとしては十分に実施できていない状況です。現在、職員がペアレント・トレーニング研修を受講しており、今後はその内容を職員間で共有し、日々の支援に活かしていくとともに、保護者の皆様へ還元できるような取り組みについても検討してまいります。引き続き、ご家庭と連携しながら、より充実した家族支援が行えるよう努めてまいります。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		現状、保護者会やきょうだい同士の交流機会については、定期的な開催ができていない状況です。一方で、グループレッスン終了後のフィードバックの時間において、保護者同士が顔を合わせる機会があり、短時間ではありますが情報交換や交流の場となっていると考えております。今後は、現在の取り組みに加え、ご希望やニーズに応じて無理のない形で保護者同士の交流機会の在り方について検討してまいります。また、きょうだいへの支援についても、ご家庭の状況に配慮
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	5		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		現状、地域住民の方を招待するような行事の実施には至っておらず、地域に開かれた取り組みが十分ではないと認識しております。今後は、地域とのつながりを大切にしながら、無理のない形での交流機会や情報発信の在り方について検討し、地域に開かれた事業所運営に向けて取り組んでまい
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0		